安全データシート（ＳＤＳ）

1. **製品名および会社情報**

会社名　アルプス株式会社
住所東京都新宿区早稲田南町３３
緊急連絡先　電話番号　０３－３２０７－０００６
FAX 番号　０３－５２７２－００５１

製品名　アルプス SS（SS・SSJ）

---

2. 危険有害性の要約

GHS 分類　：分類基準に該当しない。
本製品は「成形品」であり SDS の作成が必要な「化学製品」に該当しない。
危険性　：危険性なし
有害性　：木質基材に使用されている接着剤から微量のホルムアルデヒドが放散されるが、人体への影響は極めて少ない。
F☆☆☆☆に関しては、後述の「適用法令」項を参照。
環境影響　：環境影響なし

---

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物・成形品の区別：成形品
当該製品の一般的名称　：強化紙プリント合板

当該製品は木質基材に化粧紙を貼り、合成樹脂塗料を塗工したもの、または合成樹脂塗料を予め塗工した化粧紙を木質基材に貼ったもので、危険有害な化学品には該当しない。

国連分類：分類基準に該当しない　　国連番号：なし

---

4. 応急措置

目に入った場合　：切り屑等が入った場合、眼球を傷つける可能性があるので清浄な水で充分洗い流す。異常を感じるようであれば、速やかに専門医の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合　：通常は人体に対してほとんど刺激なし。
吸入した場合　：ホルムアルデヒドにより鼻、喉に刺激を感じた場合は換気を良くし、空気の新鮮な場所へ移る。
飲み込んだ場合　：通常飲み込めないが、切り屑等を飲み込んだ場合は、吐き出させる。

5. 火災時の措置

消火方法：木材火災の対応に準ずる。火災時には、熱分解や不完全燃焼により有害な一酸化炭素を含むガスや煙が発生するので吸入しないよう注意する。
火元への燃焼源を断ち、風上から大量の水または消火剤を使用して消火する。
消火作業の際には、適切な空気呼吸器、保護服、保護手袋、顔面保護具等を着用する。
消火剤　：大量の水、噴霧水、フォーム（泡）、炭酸ガス、砂。

6. 漏出時の措置

漏出しない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：通常の取扱いでは危険はないが、保護手袋（耐切傷）、保護眼鏡の着用が好ましい。
保管　：通気性、換気性の良い屋内の平坦な所に波打ちしないよう平積み保管する。
直射日光の当たる場所や多湿の場所は避ける。

8. 暴露防止措置

管理濃度（ホルムアルデヒド）：未定
許容濃度（ホルムアルデヒド）：日本産業衛生学会（1994 年度版）勧告値　0.5ppm
ACGIH（1994～1995 年度版）勧告値　0.3ppm（天井値）
厚生労働省 2002 年室内濃度指針値　0.08ppm
設備対策：なし
保護具　：保護手袋（耐切傷）、保護眼鏡の着用が好ましい。

9. 物理的及び化学的性質

外観等　　：薄板状固体
臭気　　：微臭
沸点、蒸気圧、揮発性、融点、初留点：該当せず
溶解度　水：不溶

10. 安定性及び反応性

可燃性　　：あり
引火点、発火性、酸化性、自己反応性、爆発性、粉塵爆発性：該当せず
安定性・反応性：通常の取扱いにおいては安定である。

11. 有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

皮膚腐食性、刺激性（皮膚、眼）、感作性：知見なし
急性毒性、慢性毒性、がん原性、変異原性、生殖毒性、催奇形性：知見なし

12. 環境影響情報

分解性、蓄積性、魚毒性：知見なし

13. 廃棄上の注意

可燃物として焼却可能だが、法的基準を満たした焼却場にて焼却する。焼却灰については、産業廃棄物として処理する。廃棄する場合は、産業廃棄物として処理し、原野・河川等に不法に廃棄してはならない。

14. 輸送上の注意

危険有害性のない製品に分類され安全上問題はないが、直射日光にさらしたり水に濡らしたりしないようにする。

15. 適用法令

消防法　　：指定可燃物（木材加工品）
建築基準法：F☆☆☆☆…内装仕上げの使用可能面積の制限無し。

16. その他の情報

「記載内容について」
記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しておりますが、記載のデータ及び評価については情報提供であり、保証するものではありません。取扱いには注意して下さい。なお､注意事項については通常の取扱いを対象にしたものですので､特別な取扱いをする場合には、さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。